

京都大学瀬戸臨海実験所構内でスズメ（スズメ科）の 窓ガラスへの衝突

Luna YAMAMORI * and Shin KUBOTA **: Collision of a tree sparrow *Passer montanus* Linnaeus (Passeridae) on the window glass in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University

山守瑠奈*・久保田 信**

和歌山県西牟婁郡白浜町に位置する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所研究棟の2階の透明な窓ガラスにかなり以前に未成鳥のクロツグミが衝突死したが(久保田, 1997)、今回、この所在地で再び小鳥の衝突が起こったので記録する。

今回は同じ研究棟の1階にある実習室の地面からの高さ2m未満の透明ガラス窓への衝突で、2013年6月30日13時頃に大きな音を立てて何かが衝突した。そこで、すぐに山守が外へ出て見ると、一羽のスズメ *Passer montanus* Linnaeus, 1758が地面で首が曲がった状態で横たわっていた。すぐにそのスズメをなでたりゆすったりしたところ(図1)、約20分後に自力で飛び去った。おそらく無事に回復して平常な生活にもどれたのだろう。

引用文献

久保田 信. 1997: 和歌山県白浜町で事故死したクロツグミ. 南紀生物, 39(1), 28.

* (〒606-8502 京都市左京区北白川追分町)
京都大学農学部資源生物学科

** (〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所



図1 京都大学瀬戸臨海実験所研究棟の窓ガラスに
衝突・落下後により回復したスズメ